

## 標準潤滑方式

表 D1 標準潤滑方式一覧

枠番	潤滑方式
72、82、92、95、102、105、112、115	油浴式潤滑
72DA、82DA、92DA、102DA、112DA	出力部：油浴式潤滑 入力部（サイクロ減速機）：長寿命グリース潤滑

注) 出力軸軸受部はグリース潤滑です。

## 潤滑剤

油潤滑部は油を抜いて出荷していますので、必ず運転前にオイルゲージの中央まで給油してください。  
グリース潤滑部は出荷時にグリースを充填していますので、そのままご使用できます。

表 D2 推奨潤滑油（工業用極圧ギヤ油・SP系、JIS K2219 工業用ギヤ油 2 種相当）

周囲温度 °C	コスモ石油 ルブリカンツ	ENEOS	出光興産	シェルルブリカンツジャパン		EMG ルブリカンツ
-10 ~ 25	コスモギヤ SE 150	ボンノック TS 150	ダフニー スーパー ギヤオイル 150	シェルオマラ S2 G 150	シェルオマラ S2 GX 150	モービルギヤ 600XP 150
10 ~ 40	コスモギヤ SE 220	ボンノック TS 220	ダフニー スーパー ギヤオイル 220	シェルオマラ S2 G 220	シェルオマラ S2 GX 220	モービルギヤ 600XP 220
30 ~ 50	コスモギヤ SE 320	ボンノック TS 320	ダフニー スーパー ギヤオイル 320	シェルオマラ S2 G 320	シェルオマラ S2 GX 320	モービルギヤ 600XP 320

- 注) 1. 冬季または比較的低い周囲温度で使用する場合には、枠内の低い粘度の油をご使用ください。  
2. 常時 0°C ~ 40°C 以外の周囲温度で使用する場合はご照会ください。  
3. 潤滑油は取扱説明書の方法および交換時期にしたがって、定期的に交換してください。

## ■給油量

給油量の概略値を表 D3 に示します。  
必ずオイルゲージにて油面レベルをご確認ください。

表 D3 給油量の概略値 (リットル)

中空軸・軸上取付形、中実軸・フランジ取付形

枠番	取付位置記号					
	Y1	Y2	Y3	Y4	Y5	Y6
	F1 G1	F2 G2	F3 G3	F4 G4	F5 G5	F6 G6
72、72DA	1.9	8.3	5.7	4.8	3.3	5.7
82、82DA	3.4	11.5	7.6	6.8	4.7	7.8
92、95、92DA	4.1	15.8	10.2	7.9	5.9	11.1
102、105、102DA	6.7	23.0	14.9	14.2	9.1	14.9
112、115、112DA	9.5	33.2	21.0	16.8	12.2	19.2

中実軸・脚取付形

枠番	取付位置記号					
	K1	K2 V2	K3	K4	K5	K6
72、72DA	2.1	7.6	5.0	4.5	2.8	5.4
82、82DA	3.2	10.7	6.8	5.9	4.0	7.4
92、95、92DA	4.1	14.1	9.1	6.8	5.1	9.7
102、105、102DA	6.7	22.2	14.3	12.9	8.6	15.3
112、115、112DA	8.6	29.6	18.5	15.0	10.7	20.4

## ■オイルシールに関するご注意

オイルシールには寿命があり、長時間でのご使用で自然劣化や磨耗によってシール効果が低下することがあります。減速機の使用条件や周囲環境によってシール寿命は大きく異なります。通常運転（均一荷重、1日10時間運転、常温下）でのご使用に際しては、1～3年程度を目安に交換されることをお勧めします。尚、その際に軸（またはカラー）に錆が発生している場合、同時に交換していただく様をお願い致します。